

令和6年度 学校経営計画書

1 教育目標

個性と能力を伸ばし、積極的に自己の啓発に努める心身ともに健全な人間を育成する。

石川県立能登高等学校
校長 屋敷 秀樹

教育方針

- ① 旺盛な好奇心と豊かな心を備えた、誠実で責任感ある人材を育成する。
- ② 自ら学び行動する意欲を養い、個性・能力・適性に応じた進路の確立に努める。
- ③ ふるさとに誇りを持ち、地域社会の振興・発展に寄与する人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 小規模校の特性を活かし、生徒の進路目標を実現する学習指導に取り組んでいる。
- ② 学力と学習意欲の格差是正のため、基礎・基本の定着を目的とした「わかる授業」の展開に向けて、ICT等を活用した授業改善に取り組んでいる。
- ③ 生徒に、早期に明確な目標を持たせるために、生徒の自己実現に向けた学習指導体制や進路指導体制を整備・充実させている。
- ④ 心身ともに健全な人間育成のため、基本的生活習慣の確立、規範意識の向上、部活動の活性化、教育相談機能の充実に取り組んでいる。
- ⑤ ふるさとに対する愛着を持ち、地域社会の活性化に貢献できる生徒の育成のため、地域の文化・産業、地域の将来性について考え、地域と協働する教育活動に取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 生徒の学習意欲を高め、家庭学習習慣を確立することで、基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を身につける。
- ② 生徒の社会人として求められる基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。
- ③ 部活動や生徒会活動に積極的な参加を通して、自己表現ができる能力を伸ばし、心身ともに健全な活力に満ちた生徒を育成する。
- ④ 資格取得のための試験や検定試験に積極的に挑戦させ、生徒の社会を逞しく生き抜く意欲と態度を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒の能力・実態に応じた効果的なICT機器の活用法を研究し、「確かな学力」を身につけさせるための授業改善に努める。
- ② きめ細かい観察や面談指導を通して生徒理解に努め、組織的・継続的・計画的な生徒指導・進路指導を展開する。
- ③ 生徒とともに部活動や学校行事に積極的に参加し、生徒の努力や活躍を適切に評価することで生徒との心の絆を深める。
- ④ ワークライフバランスを考え、業務効率を意識した働き方改革を進める。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒・保護者・地域の期待と信頼に応えるため、GIGAスクール構想の推進と家庭学習習慣の確保をととして、生徒の「確かな学力の育成」を育成し、進路実現を図る。
- ② 安全・安心な学習環境の整備と地域みらい留学365による交流を通じて、変化する社会に対応できる精神的な逞しさを備えた「人間力の育成」を図る。
- ③ 地域における6次産業の担い手として、「地域産業の振興に貢献できる人材の育成」を図る。
- ④ 部活動の強化と生徒会活動の活性化を進めるとともに、教職員の多忙化改善に取り組み、適正なワークライフバランスを図る。